

仕様確認書①

提案機器名：

提案者名：

仕様確認書提出日：

※要求仕様の個別の回答については、「仕様を満たす」「機能を有する」等の回答だけではなく、カタログもしくはその他の資料を用いて明確に提示、回答すること。資料の明示が困難である場合は、別途、担当者と協議すること。

X線発生装置について

NO	仕様	回答
1	発生方式は、三相インバータ方式であること。	
2	発生能力は、50 kW 以上であること。	
3	管電圧は、40～150 kV であること。	
4	大管電流は、500mA 以上であること。	
5	発生器コントローラーは壁掛け又は卓上に設置可能なシートキー方式であること。設場所等については当院担当者と協議すること。	
6	アナトミカルプログラム機能を有し、プ	

	プログラム数は 245 種類以上登録可能であること。	
7	撮影条件の設定は、当院の DR コンソールと接続し部位毎に自動連動すること	
8	超音波距離計により患者皮膚面との距離を計測し、ばく射条件から NDD 法に類する手法により入射表面線量（入射皮膚線量）を計算し表示することができること。また計測した線量情報を DR コンソールに接続ができること。	

X線管保持装置について

NO	仕様	回答
1	X線管保持装置は天井走行装置と1台のX線管球で構成されること。	
2	天井固定レールは、広範囲に移動が可能なように長軸方向4m以上のレールであること。(設置等は、当院と協議後決定する)	
3	天井移動レールは、広範囲に移動が可能なように短軸方向3m以上であること。(設置等は、当院と協議後決定する)	
4	X線管上下ストロークは1.6m以上であること。	
5	水平軸まわりの管球回転角度は、 $+120^{\circ}$ ~ -180° 以上であること。	
6	支柱鉛直(垂直)軸まわりの管球回転は $\pm 180^{\circ}$ 以上であること。	
7	装置固定は、オフロックの電磁ロック方式であること。鉛直軸回転の制御も電磁ロックで行えること。	
8	拡大率を一定にするための、SID表示ができること。	

9	支柱背面のスイッチを有しポジショニングが可能であること。	
---	------------------------------	--

X線管装置について

NO	仕様	回答
1	極蓄積熱容量は 400kHU 以上であること。	
2	焦点サイズは、小焦点 0.6mm 以下そして大焦点は 1.2mm 以下であること。	
3	ターゲット角度は、12 度もしくは 16 度であること	

X線可動絞りについて

NO	仕様	回答
1	補償フィルターは手差しであること。	
2	LEDランプを採用し、タイマー方式で有ること。	

自動露出制御機能について

NO	仕様	回答
1	自動露出制御機能を有すること。	
2	4点以上の採光野を持つ自動露出制御機能を有すること。	

付属品

NO	仕様	回答
1	防護衣掛け（保科製作所 PHC-2）を準備すること。	
2	金属ラックを準備すること。	

立臥位移設

NO	仕様	回答
1	既存立臥位撮影台（オートシステム社）を新病院に移設すること。	

以上